

人権啓発センター

ヒューレおおいた

2026



human
rights

enlightenment



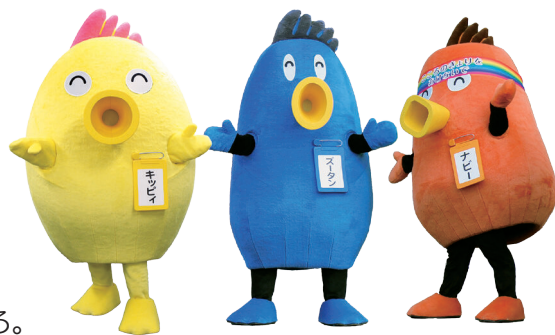
大分市 人権イメージキャラクター「キズナズ」

1 設置の目的

人権啓発センター（ヒューレおおいた）は、基本的人権尊重の精神に基づき、あらゆる人権に関する課題解決に向けた人権啓発の推進及び人権に関する市民の交流の促進を図ることにより、市民一人ひとりが互いの人権を尊重し合い共に生きる喜びを実感できる地域社会の実現に寄与することを目的とする。

2 設置までの経緯

- 各種団体から「人権教育・啓発センター」設置の要望が出される。
- 2006年（平成18年）10月30日
大分市都市計画マスタープランにおいて、「駅南・情報文化新都心」の形成が位置づけられる中、大分市複合文化交流施設基本構想策定委員会（外部委員会）が設置され、複合文化交流施設についての検討が始まる。
- 2008年（平成20年）6月
（仮称）大分市総合社会福祉センター設置懇話会から、同センター内に大分市が追加提案した「人権啓発センター」の設置について、その必要があるとの報告書が提出される。
また、本報告書において、新たな総合社会福祉センターの設置場所は、市が建設を計画している駅南の複合文化交流施設内とされる。
- 2008年（平成20年）8月
上記報告書を受け、大分市複合文化交流施設事業における公共機能（案）を修正し、以降、「おおいた都心まちづくり計画」策定庁内検討委員会において、「人権啓発センター」の設置について協議が始まる。
- 2009年（平成21年）12月
「大分市複合文化交流施設整備事業推進チーム」が発足し、施設・設備面や運営方法についての具体的な協議が始まる。
- 2011年（平成23年）12月
平成23年第4回定例市議会で、「人権啓発センター」を含む「ホルトホール大分条例」が制定される。
- 2013年（平成25年）4月1日
「人権啓発センター開設準備室」が設置される。
- 2013年（平成25年）7月20日
ホルトホール大分1階に、「人権啓発センター」が開設される。



3 施設の概要

- | | |
|---------|---|
| ① 施設名称 | 人権啓発センター（愛称：ヒューレおおいた） |
| ② 所在地 | 大分市金池南一丁目5番1号 J:COM ホルトホール大分1階 |
| ③ 施設内容 | 展示コーナー、図書・DVD等閲覧コーナー、相談室、福祉総合ミーティングルーム |
| ④ 延べ床面積 | 283.16㎡ |
| ⑤ 開館時間 | 午前9時～午後5時 |
| ⑥ 休館日 | 毎月第2・4月曜日（ただし、その日が休日に当たる場合は、その後の休日以外の日）
年末年始（12月28日から1月3日） |

4 組織機構図

総 務 部

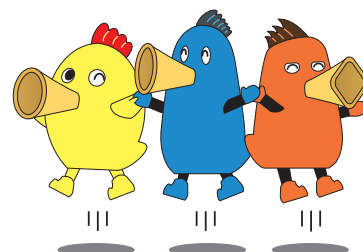
人権尊重推進課

旭町文化センター

人権啓発センター
(ヒューレおおいた)

< 愛称「ヒューレおおいた」の由来 >

「人権啓発」の英語表記「human rights enlightenment」の頭文字「hu」, 「r」, 「e」を合わせた造語「hure(ヒューレ)」から愛称を「ヒューレおおいた」とした。



5 機能及び事業

4
つ
の
機
能

人権教育・啓発推進機能

あらゆる差別の解消と市民の人権意識の高揚を図り、人権尊重社会を実現するため、市民に密着した効果的な人権教育・啓発を推進する。

- 講座、講演会、研修会等
- 展示事業（常設展示、特別展示）
- 講師紹介

交流・連携機能

人権に関する自主的な活動や学習を支援し、各種団体や関係機関との交流・連携を促進する。

- 学校・団体の受入
- 人権関係団体の支援・交流

情報収集・提供機能

市民の人権意識の高揚を図るため、人権に関する情報提供等を行う。

- 人権に関する情報の収集、提供
- 図書・DVDの貸出し
- 広報事業
(センターだより・パンフレット・啓発資料等の作成)

相談・支援機能

人権に関する問題の解決と日常生活における人権救済に向けた相談体制等の充実を図る。

- 人権問題に関する相談
- 人権擁護委員による相談

6 館内の案内

(1) 展示コーナー

人権啓発パネルや各種資料を常時、展示する。およそ1か月ごとにテーマを変えて、特別展示も行う。

①常設展示

女性や子ども、高齢者、障がい者、部落差別（同和問題）などのあらゆる人権問題及び大分市の取組みについての人権啓発パネルを展示する。



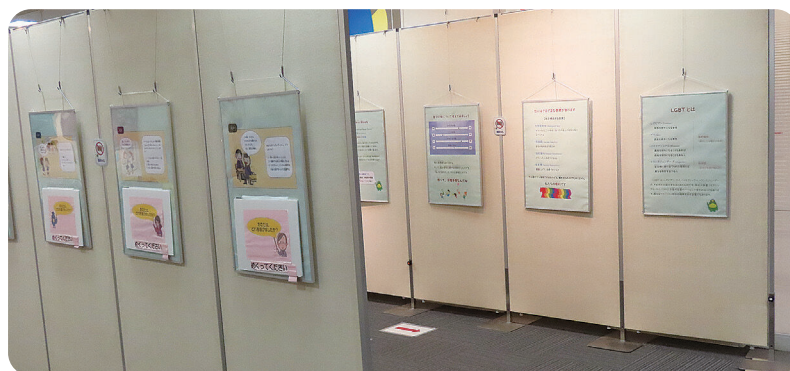
常設展示「人権啓発パネル」

②特別展示

およそ1か月ごとにテーマを変えて、パネル等を展示する。



「ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間」展
(8月6日～9月2日)



「多様な性を認め合う」パネル展（11月1日～11月28日）

(2) 図書・DVD等閲覧・視聴・情報検索コーナー

人権に関する図書・DVDなどの閲覧や貸出しを行う。貸出しは、図書3冊、DVD2本まで。貸出期間は15日以内。（貸出券の登録申請が必要）

<所蔵数>

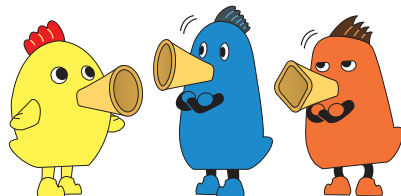
図書	884冊
DVD	126枚
人権に関するDVDの視聴、パソコンによる情報検索ができる。	
DVDモニター	2台
パソコン	1台



図書・DVD等閲覧コーナー

(3) 相談室

人権に関する相談に対応。毎月第1水曜日（午前10時から午後3時）は、人権擁護委員による相談も行う。なお、開館日の午前9時から午後5時までは職員による相談も行う。



相談室

(4) 福祉総合ミーティングルーム

人権啓発に関する講座や研修会などで利用できる。

< 使用例 >

- 「ヒューレおおいた」主催の研修会等
- 小・中学校及び義務教育学校の児童生徒を対象にした人権教育
- 地区人権教育（尊重）推進協議会

長机 …… 18脚	プロジェクター …… 1台
椅子 …… 55脚	スクリーン …… 1台
演台 …… 1台	ホワイトボード …… 1台



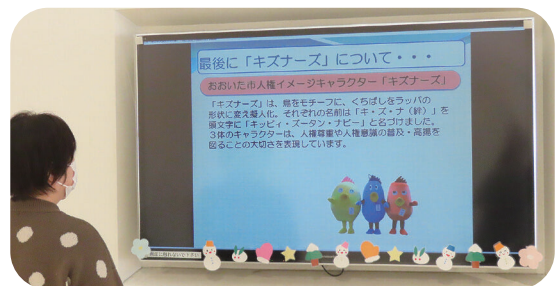
福祉総合ミーティングルーム

(5) 人権啓発モニター

65インチのモニターを北側廊下壁面に設置し啓発DVD等の上映を行う。

< 内容例 >

- 「ヒューレおおいた」紹介
- 特別展示等の案内



人権啓発モニター（65インチ）

(6) 人権啓発大型ポスター掲示板

4mポスター掲示板、2mポスター掲示板（2箇所）及び啓発資料を展示する。

人権尊重社会の実現に向け、市民の人権意識の高揚を図るため、あらゆる人権問題をテーマにした大分市作成のポスター及び啓発資料を掲示する。



人権啓発大型ポスター掲示板（4mポスター）

7

事業の概要

<2025年度(令和7年度)の実績>

(1) 人権教育・啓発推進機能

①講座、講演会

○リーダー養成講座「にんげんセミナー」

地域や企業、行政等において、人権啓発のリーダーを養成する講座を年10回開催する。

講 師

しん まさひろ やなぎはら し ほ よしおか あや でぐち ま き こ いとう こうすけ おく ゆい か
秦 政博氏、柳原 志保氏、吉岡 綾氏、出口 真紀子氏、伊藤 耕介氏、奥 結香氏、
たかはし ひでのり かわ べ じゅんいちろう
高橋 秀徳氏、川邊 純一郎氏(順不同)

受講者数

42人

回	実施日	内 容 ・ 講 師
第1回	7月25日(金)	「今日からはじまるにんげんセミナー」 高 橋 秀 徳 氏
第2回	8月 4日(月)	「差別を温存・助長する考え方向き合う」 川 邊 純一郎 氏
第3回	8月21日(木)	「防災と人権」 柳 原 志 保 氏
第4回	9月 3日(水)	「マジョリティの特権を可視化する」 出 口 真紀子 氏
第5回	9月17日(水)	「今ここにある部落差別」 吉 岡 綾 氏
第6回	10月 2日(木)	「多様な性について知ろう」 奥 結 香 氏
第7回	10月16日(木)	「差別から見た日本の歴史 1」 秦 政 博 氏
第8回	10月30日(木)	「差別から見た日本の歴史 2」 秦 政 博 氏
第9回	11月 6日(木)	「差別から見た日本の歴史 3」 秦 政 博 氏
第10回	11月20日(木)	「ヤングケアラーについて知る・考える」 伊 藤 耕 介 氏



第2回講座



第4回講座



第10回講座

＜これまで受講された企業・団体＞（敬称略 掲載は順不同）

日本郵便株式会社大分中央郵便局
大分県農業協同組合中西部事業部
九州旅客鉄道株式会社大分支社
西日本電信電話株式会社大分支店
大分バス株式会社
大分交通株式会社
株式会社トキハ
日本製鉄株式会社大分製鉄所
九州電力株式会社大分支社
大分合同新聞社
大分キャノン株式会社
ENEOSエネルギー(株)大分製油所
株式会社大分銀行
日本生命保険相互会社
(株)三井E&Sマシナリー大分工場
TOTOアクアテクノ株式会社大分工場
大分信用金庫
大分県信用組合
日本通運株式会社大分支店
太陽生命保険株式会社大分支社
株式会社オーイーシー
九州労働金庫大分県本部
大分市タクシー協会
株式会社別大興産
(株)JR大分シティ
大分市管工事協同組合
株式会社豊利銀行

明治安田生命保険(株)大分支社
株式会社太田旗店
大分市職員労働組合
ヴェオリア・ジェネッツ株式会社
マイタウンサービス(株)
株式会社日本水泳振興会
株式会社ダイプロ
株式会社九電工大分支店
公益財団法人大分市シルバー人材センター
大分リパーススタジオ共同企業体
大分県住宅供給公社
コンパルホール共同事業体
ホルトホール大分みらい共同事業体
アートプラザ共同事業体
平和市民公園共同事業体
大分市情報学習センター
(一財)大分市高崎山管理公社
関崎海星館
社会福祉法人大分市福祉会
大分市宇曹山荘
春日町小学校PTA
大道小学校PTA
西の台小学校PTA
南大分小学校PTA
城南小学校PTA
豊府小学校PTA
植田小学校PTA

宗方小学校PTA
金池小学校ひしみの会
上野ヶ丘中学校PTA
王子中学校PTA
大分西中学校PTA
南大分中学校PTA
城南中学校PTA
明野中学校PTA
植田中学校PTA
植田西中学校PTA
碩田学園PTA
大在小学校PTA
南大分地区人権教育推進協議会
大在地区人権教育推進協議会
大南地区人権尊重推進協議会
野津原地区人権教育推進協議会
坂ノ市地区人権教育推進協議会
佐賀関地区人権教育推進協議会
西部地区人権教育推進協議会
城東原川地区人権教育推進協議会
南部地区人権教育推進協議会
鶴崎地区人権教育推進協議会
明野地区人権尊重推進協議会
大分中央地区人権尊重推進協議会
植田地区人権尊重推進協議会
大分人権擁護委員協議会
大分市地域婦人団体連合会

○「にんげん劇2025」

市内の中学生・高校生等を対象に、
「人権」の大切さを考えてもらう演
劇を上演する。



にんげん劇「放課後、写真部部室で。」 出演：大分県立大分西高等学校演劇部「西舞」(せいぶ)

②常設展示

あらゆる人権問題及び大分市の取組みなどをパネル化し、センター内外の壁面に常時、展示するとともに、貸出し等も行う。



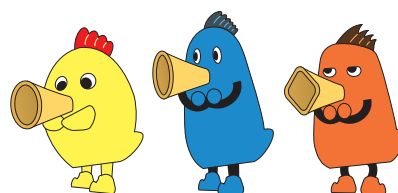
③特別展示

あらゆる人権問題について学習する契機の提供を目的として、年間計画の中でテーマを設定し、パネル等の展示会を実施する。

特別展（期間）	概 要
Light It Up Blue@[100年の樹] 2025アート作品展 (4月1日～4月25日)	Light It Up Blue（ライト・イット・アップ・ブルー）は、全世界の人々に自閉症・発達障がいについて理解してもらう取り組みであり、世界自閉症啓発デーや発達障害啓発週間に合わせ、大分市では「100年の樹」を青くライトアップし、関連するアート作品を展示。
「江口いと」人権の詩 パネル展 (4月26日～5月30日)	江口いとさんは、不条理な差別と闘い、乏しい中でも分かち合う「博愛の心」や「まことの心」を大切に生きてきた方です。人間としての強さや、母としての深い愛情、そして差別解消への強い願いを豊かに表現された詩を紹介したパネル展。
「人権マンガパネル ーぐらぐらもりのおばけー」展 (5月31日～7月1日)	法務省人権イメージキャラクター「人KENまもる君・人KENあゆみちゃん」をデザインしたやなせたかしさんが児童向けに創作した絵本・紙芝居「ぐらぐらもりのおばけ」の原画を基にしたパネル展。
「みつけて人権～考えてみませんか 身近な人権を～」パネル展 (7月2日～8月5日)	職場や学校での差別、インターネット上の誹謗中傷、高齢者や障がいのある人が生活しやすい環境づくりなど、身近なところにもある「人権」について改めて考え、私たちの生活とどう関わっているのかを見つめ直す機会を提供したパネル展。
「ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間」展 (8月6日～9月2日)	戦後80年、唯一の戦争被爆国として核兵器の恐ろしさを広く知っていただき、改めて平和の尊さについて考える機会とするための写真パネル展。
「人権啓発ポスター」展 (9月3日～9月30日)	人権意識の普及・高揚を目的として、著名人によるメッセージやイラストがデザインされた人権啓発ポスターのパネル展。
「『暗やみに光を灯した人』 杉原千畝」展 (10月1日～10月31日)	第二次世界大戦中、リトアニアの領事館赴任時にドイツの迫害により欧州各地から逃れてきた難民たちの救済のため、「命のビザ」を発給し、約6千人のユダヤ人を救った外交官、杉原千畝（すぎはら ちうね、1900年～1986年）の功績を紹介したパネル展。
「多様な性を認め合う」パネル展 (11月1日～11月28日)	性について考え、多様性を認め合い、お互いを大切にする社会のあり方を紹介したパネル展。
「人権の詩(こころのうた)」パネル展 (11月29日～12月23日)	日常のなかでふと気づいた「人権」をテーマにした詩の応募作品のパネル展。
「令和6年能登半島地震」 写真パネル展 (1月4日～1月30日)	2024年（令和6年）1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」の様子などを記録した報道写真パネル展。
「いっしょに考えてみませんか 人権 のこと」パネル展 (1月31日～2月27日)	日常の「当たり前」の中に潜む人権課題を身近な事例で紹介し、日々の暮らしを見つめ直す「気づき」の機会を提供したパネル展。
「東日本大震災」写真パネル展 (2月28日～3月27日)	2011年（平成23年）3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災。震災当時の様子を記録した写真パネル展。



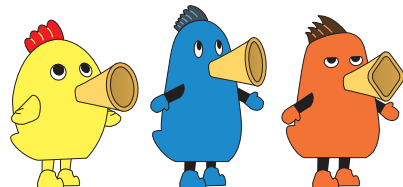
Light It Up Blue@「100年の樹」2025
アート作品展
(4月1日～4月25日)



「江口いと」人権の詩 パネル展
(4月26日～5月30日)



「暗やみに光を灯した人」杉原千敏 展
(10月1日～10月31日)



「人権の詩 (こころの詩)」パネル展
(11月29日～12月23日)

④講師紹介

地域をはじめ企業や行政、学校などが積極的に人権に関する研修会等に取り組むことができるように講師の紹介を行う。

⑤夏休み映画上映会 2025

小・中学校及び義務教育学校の夏季休業期間に映画を上映する。



「あの花が咲く丘で、
君とまた出会えたら。」

⑥夏休み障がい者 スポーツ体験

パラリンピックの
正式種目「ボッチャ」
を体験する。



⑦夏休み人権体験学習

小・中学校及び義務教育学校の夏季休業期間に人権に関する体験学習事業を行う。(教職員等の研修も含む)

※学習内容は、高齢者・妊婦擬似体験、車いす体験、アイマスク体験、点字体験など

(2) 交流・連携機能

①学校・団体の受入

学校等の人権教育や各種団体の人権研修を支援するため、小・中学校及び義務教育学校の児童生徒を対象とした講話や体験学習を実施する。

○小・中学校及び義務教育学校の受入

学習項目	内 容
講 話	「誰もが幸せに生きるために」をテーマにした講話
高齢者・妊婦擬似体験	高齢者・妊婦擬似体験グッズを装着した擬似体験活動
車いす体験	車いすに乗車したり、介助する体験活動
アイマスク体験	アイマスク、白杖を使用した擬似体験活動
点 字 体 験	点字器を使った体験活動
バリアフリー設備等見学	J:COM ホルトホール大分のバリアフリー設備、ユニバーサルデザイン設備の見学
パネル学習	人権問題について常設展示、特別展示のパネル見学

	児童生徒数
市内小学校・義務教育学校	3, 577人
市 外 小 学 校（由布市）	23人
市内中学校・義務教育学校	4, 309人
合 計	7, 909人



点字体験



高齢者擬似体験



妊婦擬似体験



車いす体験



○団体の受入

受入団体数・・・21団体 769人

②人権関係団体の支援・交流

地域での団体相互の交流や連携を図ることを目的に、各人権関係団体の活動資料などを掲示する場の提供を行うとともに、団体を対象とした研修会等を実施する。



地区人権協広報紙の展示

(3) 情報収集・提供機能

①人権に関する情報の収集、提供

国内外のさまざまな人権に関する情報や資料を収集し、センター内外での掲示等により情報発信する。

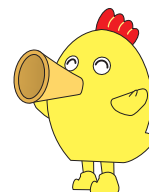
②図書・DVDの貸出し

センターが所蔵する人権に関する図書やDVDを市民・団体・企業等に貸出す。

③広報事業

人権に関する情報やセンター事業の紹介を掲載した定期広報紙を発行する。
また、センターのパンフレットや各種の啓発資料等を作成する。

- 広報紙「ヒューレbond(ボンド)」発行 市内全戸配布 (年1回)
- 小・中学校及び義務教育学校用広報紙「ヒューレ通信」発行
小・中学校及び義務教育学校全学級配布 (年2回)



「ヒューレbond(ボンド)」



「ヒューレ通信(夏)」



「ヒューレ通信(冬)」



(4) 相談・支援機能

人権相談

人権に関する総合的な相談窓口として、面談等による人権相談に応じる。
また、人権擁護委員による相談を毎月第1水曜日に実施する。

相談者数(件数)	23人(23件)
----------	----------



8 年間利用者数

年 度	利用者数
2025年度(令和7年度)	49,876人
2024年度(令和6年度)	47,056人
2023年度(令和5年度)	37,320人
2022年度(令和4年度)	21,318人
2021年度(令和3年度)	19,664人
2020年度(令和2年度)	16,154人※
2019年度(令和元年度)	47,040人※
2018年度(平成30年度)	48,652人
2017年度(平成29年度)	49,471人
2016年度(平成28年度)	46,518人
2015年度(平成27年度)	50,933人
2014年度(平成26年度)	54,648人
2013年度(平成25年度)	40,769人※

※2020年(令和2年)3月21日～5月17日までは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館

※2013年度(平成25年度)は7月20日(開館)～3月31日



大分市
人権イメージ
キャラクター

キズナーズ



人権啓発センター(ヒューレおおいた)の開設を契機として人権問題の正しい知識と認識を広め、さらなる人権意識の普及・高揚を目的に、2013年(平成25年)に大分市人権イメージキャラクターとして「キズナーズ」が誕生しました。キズナーズは、鳥をモチーフに、くちばしをラッパの形状に変え擬人化。それぞれの名前は「キ・ズ・ナ(絆)」を頭文字に「キッピー・ブータン・ナビー」と名づけました。

人権啓発センター ヒューレおおいた

〒870-0839 大分市金池南一丁目5番1号「J:COM ホルトホール大分」1階

電話 097-576-7593 **FAX** 097-544-5708

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 ●毎月第2・4月曜日(ただし、その日が休日に当たる場合は、その後の休日以外の日)
●年末年始(12月28日～1月3日)